

2019年5月25日(土)~26日(日) 開催 六本木の街を舞台にしたアートのお祭り「六本木アートナイト 2019」

言葉を越えて喜びや感動をもたらすアートの力をオールナイトで満喫しよう
メインプログラム・アーティストには
アジアの現代アート界を代表するアーティスト チェ・ジョンファ!

巨大な赤いボールが六本木に出没! “レッドボールプロジェクト”が日本初上陸決定!

六本木アートナイト実行委員会は、六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2019」のメインイベントを2019年5月25日(土)から26日(日)に開催いたします。

現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出す「六本木アートナイト」は、2009年3月にスタートし、今回で10回目を迎えます。今までに、ヤノベケンジ、草間彌生、日比野克彦、蜷川実花、名和晃平など日本の現代アートを牽引するアーティストが参加し、東京を代表するアートの祭典として、回を重ねるごとに発展し続けています。

今回のテーマは「夜の旅、昼の夢」。メインビジュアルは、グラフィックやモーショングラフィックを中心に、多様な領域で活動する groovisions (グルーヴィジョンズ) がデザインしたものです。



六本木アートナイト2019 メインビジュアル

メインプログラム・アーティストは10回目にして初の外国人アーティスト チェ・ジョンファを迎え、華やかでハッピー、夢のような一夜をお届けします。ソウルオリンピック・スタジアムを使用した国家的プロジェクトを成功させるなど、芸術や文化は限られた人々のものではなく見る者だれにでも開かれている、ということを一貫して訴え続けているチェ・ジョンファによるカラフルな世界にご期待ください。

ほかにも、六本木アートナイトでは、六本木エリアを横断的に展開するインスタレーションやパフォーマンスなどを多数展開します。今後も順次、開催プログラムを発表してまいりますので、是非ご期待ください。

六本木アートナイト 2019 テーマ: “夜の旅、昼の夢”

六本木の街に広がる現代アート、パフォーマンス、映像、音楽などの多様なアート作品。アートを巡る一夜限りの旅に出ましょう。街を彩るアートが創造するのは時空を超えた体験。この旅の終わりに見る夢はどのようなものなのでしょう。六本木の街なかを移動する赤い玉、巨大バルーン、光る鳥、浮遊する岩など、世界各地から集まった約50点のインスタレーションやパフォーマンスとともに「夜の旅、昼の夢」をどうぞお楽しみください。

六本木アートナイト2019 メインプログラム・アーティスト | チェ・ジョンファ(崔正化)



六本木ヒルズアリーナ イメージバース

六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館をつなぐインスタレーション作品。六本木ヒルズアリーナには果物や野菜によるカラフルなバルーン彫刻《フルーツ・ツリー》が登場し、繰り広げられる様々なイベントの舞台にもなる六本木ヒルズアリーナを、鮮やかな宴会場のように飾ります。

■アーティスト コメント:

HAPPY TOGETHER

すべては輝く。
静かに輝くものなど。
星のように輝くもの。
無用だが美しいものなど。
私も、あなたも、猫も、古い器も。
世の中のすべてのものはもう存在だけでも眩しく光ります。

私はあなたと一緒にその光を集めて編み、さらに大きくて燦爛たる光を作り出そうと思います。芸術とは、私たちの日常生活の中に毛細血管のように染み込んでいるものであり、作家たちだけの専有物ではありません。しがみつきような日常の物: 果物のひとつ、器一対が抱いている本来の存在の大きな世界とその存在の拡張を通じて私たちはお互いに会うようになるはずです。
六本木のある夜、あなたが光と色と空気とエネルギーが生動するその刹那に出会えることを願います。



Photo: Kim Dowon

<プロフィール>

1961年韓国ソウル生まれ、同在住。ヴェネチア・ビエンナーレ2005では韓国館の代表に選ばれたほか、リパブルやシドニー、台北、リヨンなど世界中の芸術祭に参加している。また、平昌2018パラリンピック冬季競技大会では、開会式・閉会式のアートディレクターを務めるなど活躍の幅を広げている。



六本木アートナイト2019 プレプログラム | Red Ball Project (レッドボールプロジェクト)

今年の六本木アートナイトのプレプログラム※として、「Red Ball Project」を展開します。アメリカ出身のアーティスト カート・パーシキーが立ち上げたプロジェクトで、今までに世界中の30都市で行われていますが、日本では今回が初の取り組みとなります。

六本木アートナイトのメインイベント5日前の5月20日より、毎日、六本木エリアの異なる場所に直径4.5メートルの巨大な赤いボールが出現し、街行く人を楽しませます。一体どこに出現するのか、ご期待ください！

展示に関する詳細は公式サイトでお知らせします。



過去の展示風景

※プレプログラムとは・・・「六本木アートナイト2019」のメインイベント開催に先駆けて展示、設置するアートプログラム

六本木アートナイト2019 開催概要

- 正式名称： 六本木アートナイト2019
- 開催趣旨： 「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。
- 日時： 〈メインイベント〉2019(平成31)年5月25日(土)10:00～5月26日(日)18:00
※「六本木アートナイト2019」の開催に先駆けて展示、設置するアートプログラム「プレプログラム」、通年で事業評価検証事業等も実施予定
- 開催場所： 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料： 無料(但し、一部のプログラム及び美術館企画は有料)
- 主催： 東京都※、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区※、六本木アートナイト実行委員会
【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
※東京都及び港区は、平成31年度一般会計予算が、各議決機関における議決を経て、成立した場合に確定
- 助成： 平成30年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>

Twitter：https://twitter.com/r_artnight

Instagram：https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/

※ハッシュタグ：#roppongiartnight2019、#ran2019、#六本木アートナイト2019

*内容は一部変更になる可能性があります

参考資料：六本木アートナイト2019 メインビジュアルデザイン | groovisions (グルーヴィジョンズ)

<プロフィール>

1993年に京都で設立。1997年以降、東京を拠点に活動するデザインスタジオ。グラフィックやムービー制作を中心に、音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッション、ウェブなど様々な領域で活動する。また、主に海外ではファインアートの展覧会にも数多く参加。オリジナルキャラクター「chappie」のマネージメントでは、企業や学校のイメージキャラクターを務めたりとジャンルにとらわれない活動が目まぐるしく注目を浴びている。

<http://groovisions.com/>

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷
TEL：03-5774-1420 FAX：03-5774-1409 Mail：ran2019@one-o.com